



# どうにかする力

泗水小学校だより  
R4. 10. 25(火)  
No. 28  
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに  
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成  
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

## 絵本「ごめんねメリー」の作者・岩下俊子さんを迎えて

10月19日(水)、熊本市在住の岩下俊子さんを迎えて、絵本の読み聞かせと講話を行いました。「ごめんねメリー」は、戦時中の食糧不足のため、軍の方針で殺処分された水前寺動物園(現在の熊本市動植物園)の象を題材にした絵本です。岩下さんは、熊本市動植物園や小学校などで絵本の読み聞かせを続けてこられた方です。講話をとおして、「身近な動物園で起きた事実を知って、子どもたちにも平和の大切さや戦争の理不尽さを語り継いでほしい。」との思いを語っていただきました。

当日は、1年生と6年生が体育館で直接お話を聞かせていただきました。6年生は、11月1日からの長崎修学旅行での学習に活かしてほしいと思います。



## 「ふれ愛週間(ノーマディア週間)」の取組(11月1日～11月7日)

泗水中地区幼保小中連携推進協議会の取組の一環として、泗水地区のすべての保育園・幼稚園・小学校・中学校において、「ふれ愛週間」が設定されました。本年度は、「ノーマディア」と「早寝・早起き・朝ごはん」を重点取組として、11月1日(火)～7日(月)に実施します。

取組としては、学校から配付されます「くまモンチェックカード」に記入をしていただくことで、家族のふれ合いと規則正しい生活習慣の育成を図ります。各ご家庭でも、この機会を利用して、家族のだんらんと生活習慣育成に取り組んでいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

### ☆校長室から独り言25☆

#### 安全な登下校を保障するために…

先日の後期始業式で、「自分の命は自分で守りましょう」と子どもたちに話しました。というのも、合志川橋の開通に伴い、本校正門前の交通量が明らかに増加しているからです。さらに、コスモス泗水店の前に「泗水」バス停ができて、熊本電鉄バスも通り始めました。子どもたちの登下校時の危険は確実に高まっています。

学校では、横断歩道を安全に渡ることや車道には絶対に出ないで歩道を歩くことを繰り返し指導しています。また、朝夕が暗くなり、運転者から歩行者が見えにくくなることから、暗くなっても小学生がいることを確認してもらえるよう、黄色帽子・赤白帽子を必ずかぶることも指導しています。すべては、「自分の命を守るため」です。

以前、ある方が、「児童の安全確保のため、保護者の自動車送迎を義務化したらどうか。」と言われました。私は、心や体の成長のために歩いて登校することの意義を伝えると同時に、「朝夕のラッシュ時に500台近い保護者の自動車が泗水小周辺に集結したら、大変な渋滞が起きて危険は増すのではないのでしょうか?」と話しました。6月の不審メール事案以降、自動車送迎で登下校する子どもは増えています。それでも、多くの子どもたちは歩いて登校しており、彼らのおかげで、泗水小周辺の交通量は抑えられているのかもしれない。

なお、正門前の県道での送迎と停車(子どもの乗り降り)は大変危険です。繰り返しお願いしていますが、送迎は泗水体育館前駐車場をお願いします。子どもたちの安全な登下校を保障するために、ご協力をお願いします。